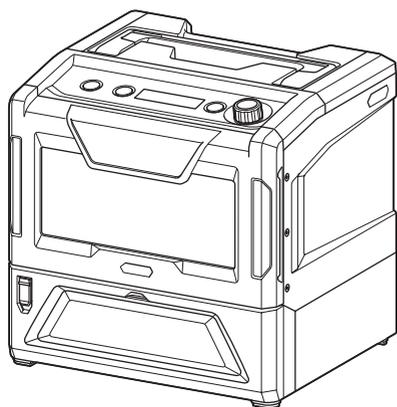


Makita

取扱説明書

充電式電子レンジ

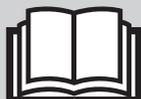
モデル MW001G



このたびは充電式電子レンジをお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本製品の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただき、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願いいたします。

なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。



もくじ

はじめに

主要機能	2
安全上のご注意	4
各部名称	12
別販売品のご紹介	14

ご使用前の準備

設置	15
バッテリー（別販売品）の充電	16
バッテリー（別販売品）の取り扱い	18
使用前に知っておいていただきたいこと	19

使い方

バッテリーの取り付け／取りはずし方法	23
本製品の操作	24
・電源の入れ方／切り方	24
・出力の切り換え方法	25
・加熱時間の設定方法	26
・加熱方法	26
・調理のコツ	27
・USB電源端子の使い方	29
使用後の取り扱い	30
・本製品のお手入れ	30
・スポンジフィルターの清掃	31

保守・点検

トラブルシューティング	32
故障かな？と思ったら	33
本製品の廃棄	33
充電式電子レンジ 保証書	裏表紙

はじめに

主要機能

モデル		MW001G
主要機能		
使用可能 バッテリー (別販売品)	リチウムイオンバッテリー	
	対応バッテリーの詳細は 14 ページの「別販売品のご紹介」を参照ください。	
電圧	直流 36 V (40 V max) ※ 1	
出力	350 W / 500 W ※ 2	
発振周波数	2,450 MHz	
設定可能時間	10 秒～ 20 分 (10 秒刻み)	
USB 電源端子	出力 電圧	直流 5 V
	出力 電流	直流 2.4 A
	形状	USB タイプ A
庫内容量	8 L	

※ 1 : 40 V max は満充電時のバッテリー電圧を表しています。

※ 2 : 出力 500 W は短時間高出力機能 (約 8 分間) であり、自動的に 350 W に切り替わります。

製品の質量および寸法

装着バッテリー	質量	本製品寸法 幅 × 奥行 × 高さ	
		機体寸法	庫内寸法
バッテリーなし	8.8 kg	343 mm × 318 mm × 338 mm	255 mm × 241 mm × 120 mm
BL4025 × 2	10.2 kg	343 mm × 366 mm × 338 mm	
BL4040 × 2	10.7 kg	343 mm × 372 mm × 338 mm	
BL4050F × 2	11.4 kg	343 mm × 393 mm × 338 mm	
BL4080F × 2	12.6 kg	343 mm × 412 mm × 338 mm	

1 回の充電での作業量（参考値）

- ・ 数値は参考値です。
バッテリー 1 個での稼働時間の目安は、バッテリー 2 個を使用したときの約半分です。

使用バッテリー	出力モード	
	350 W	500 W ※
BL4025 × 2	約 14 分	約 8 分
BL4040 × 2	約 21 分	約 15 分
BL4050F × 2	約 30 分	約 22 分
BL4080F × 2	約 48 分	約 35 分
PDC1200	約 113 分	約 84 分

※：短時間高出力機能（約 8 分間）を使用した場合の作業量です。

推奨バッテリーアダプタ類

PDC1200

- ・ 詳細はバッテリーアダプタ類の取扱説明書をご参照ください。

安全上のご注意

- ・ ご使用前に、「取扱説明書」と「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
- ・ 感電、火災、重傷などの事故を未然に防ぐために、この「安全上のご注意」を必ず守ってください。

注意文の 警告 ・ 注意 ・ 注 の意味について

ご使用上の注意事項は  警告 と  注意 ・  注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

警告

: 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

注意

: 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお  注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注

: 製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なお注意。

充電式製品共通の安全上のご注意

⚠ 警告

使用環境

1. 作業場は、整理整頓してください。また、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
 - ・ 充電式製品から発生する火花が発火や爆発の原因になります。
3. 使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。
 - ・ 注意力が散漫になり、操作に集中できなくなる可能性があります。
 - ・ 作業者以外、充電式製品や充電器のコードに触れさせないでください。
4. 十分な、防じん対策や飛散防止対策をしてください。
 - ・ 特に、人体に有害な成分を含む材料を加工するときは、注意してください。
5. アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用しないでください。
 - ・ アスベストは、人体に肺がんなどの重大な健康被害を発症させる物質です。

電気に関する安全事項

1. 充電器の電源プラグは、電源コンセントに合ったものを使用してください。電源プラグを改造したり、電源プラグをアダプタプラグなどで接続しないでください。また、接地付きプラグは確実にアースをしてください。
 - ・ 改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
2. 充電式製品、バッテリーおよび充電器は、雨ざらしにしたり、湿った、または濡れた場所で使用したり、充電したりしないでください。
 - ・ 充電式製品や充電器内部に水が入り、感電やバッテリーが短絡（ショート）する恐れがあります。
 - ・ バッテリー内部に水が入り短絡（ショート）すると、発熱、発火、破裂の恐れがあります。
3. 充電器の電源コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・ 電源コードを持って充電器を運んだり、引っ張ったりしないでください。また、電源プラグを抜くために電源コードを利用しないでください。
 - ・ 電源コードを熱、油、角のある所、動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、身体に絡まって感電する恐れがあります。
4. 使用環境に適した延長コードを使用してください。
5. USB 電源端子付き製品の場合、USB 電源部の端子間を短絡（ショート）させないでください。
 - ・ 釘、針金が USB 電源端子部に入ると、短絡（ショート）して発煙、発火の恐れがあります。

⚠ 警告

充電式製品の使用と手入れ

1. スイッチ付き製品の場合、スイッチに異常がないか点検してください。
 - ・ スイッチで始動および停止操作のできない充電式製品は危険です。使用せず修理をお申し付けください。
2. 充電式製品の誤始動を防ぐために、使用後はスイッチを切り、バッテリーを本製品から抜いてください。
3. 使用しない充電式製品は、子供の手の届かない乾燥した鍵がかかる場所に保管してください。
 - ・ 充電式製品や充電器からバッテリーを抜いて保管してください。
 - ・ 充電器は電源コンセントから電源プラグを抜いて保管してください。
 - ・ バッテリーはバッテリーカバーをつけて保管してください。
4. 極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。

バッテリーに関する安全事項

1. バッテリーを差し込む際に、スイッチが入らないようにご注意ください。
 - ・ 意図しない起動は事故につながります。
2. バッテリーは専用充電器以外では充電しないでください。
 - ・ ほかのバッテリー用の充電器を流用すると、火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。
3. マキタが指定した専用バッテリー以外使わないでください。また、改造したバッテリー（分解してセルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む）を使用しないでください。
 - ・ 本製品の性能や安全性なども損なう恐れがあり、火災やけが、故障、破裂などの原因になります。
4. バッテリーの端子部を金属などに接触させないでください。
 - ・ バッテリーを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。短絡（ショート）して発熱、発火、破裂の恐れがあります。
 - ・ 本製品または充電器からはずした後は、バッテリーにバッテリーカバーを必ず取り付けてください（バッテリー付きの場合）。
5. 高温などの過酷な条件下ではバッテリーから液漏れすることがあります。漏れ出た液体に不用意に触れないでください。
 - ・ 万が一、バッテリーの液が目に入ったら、直ちにきれいな水で十分洗い医師の治療を受けてください。
 - ・ バッテリーの液は炎症ややけどの原因になることがあります。
6. バッテリーはマキタ製品以外に取り付けて使用しないでください。
 - ・ 火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。
7. バッテリーは、火への投入、加熱をしないでください。
 - ・ 発火、破裂の恐れがあります。
8. バッテリーに釘を刺す、切る、潰す、投げる、落とす、硬い物で叩くなど衝撃を与えないでください。
 - ・ 発熱、発火、破裂の恐れがあります。
9. 分解・改造をしないでください。
 - ・ 発熱、発火、破裂の恐れがあります。
10. 使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。

⚠ 警告

11. バッテリーを火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・保管しないでください。
 - ・ バッテリーを周囲温度が 50 °C 以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。バッテリー劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
12. バッテリーを水のような導電体に浸さないでください。またバッテリーの内部に水のような導電体を侵入させないでください。
 - ・ バッテリー内部に水のような導電体が侵入すると短絡（ショート）し、発熱、発火、破裂の恐れがあります。
13. 落としたり、何らかの損傷を受けたバッテリーは使用しないでください。
 - ・ 損傷、または使用できなくなったバッテリーは回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。
14. 使用済みのバッテリーは一般家庭ゴミとして棄てないでください。
 - ・ 棄てられたバッテリーがゴミ収集車内などで破壊されて短絡（ショート）し、発火・発煙の原因になる恐れがあります。
15. バッテリーは、電力量が 100 Wh を超える場合、危険物に分類されます。
 - ・ 輸送の際は、輸送会社にお問い合わせの上、指示に従ってください。
 - ・ 電力量は、バッテリー裏側の注意ラベルに記載されています。
16. 使用中、使用後にバッテリーが熱くなることがあります。火傷、低温火傷の原因になるため注意してください。
 - ・ 使用直後は製品の端子部に触れないでください。熱くなっているため火傷の恐れがあります。
17. バッテリーに切りくず、ほこり、土などがたまらないようにしてください。
 - ・ 異常発熱によりやけどしたり、発火、破裂または、作動不良によりけがに至る恐れがあります。
18. バッテリーを使用する前に、充電器、バッテリー、バッテリーを使用する製品に関するすべての取扱説明と注意表示をお読みください。
19. バッテリーは子供の手が届かない場所に保管してください。

整備

1. 充電式製品は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。
 - ・ 本製品、充電器、バッテリーを分解、修理、改造はしないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。
 - ・ 本製品が熱くなったり、異常に気づいたときは点検・修理に出してください。
 - ・ 本製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - ・ 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
 - ・ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。
 - ・ アスベスト（石綿）周辺的环境下（除去作業含む）で使用した本製品の保守・点検・修理は受付できません。

⚠ 警告

その他の安全事項

1. 損傷した部品がないか点検してください。

- ・ 使用前に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。異常がある場合は、使用する前に修理を行ってください。
- ・ 破損した部品の交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
- ・ 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。

<異常・故障例>

- ・ 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- ・ 電源コードに深いキズや変形がある。
- ・ 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
- ・ 焦げくさい臭いがする。
- ・ ビリビリと電気を感じる。
- ・ スイッチを入れても機能しないなど不具合を感じた場合は、すぐにバッテリーを抜いてお買い上げの販売店、または当社営業所に点検、修理をお申し付けください。

2. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。

- ・ この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

3. ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、ガス、接着剤などのある場所では充電しないでください。

- ・ 爆発や火災の恐れがあります。

4. 火災の恐れがあります。次のようなことをしないでください。

- ・ ダンボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニールなどの上では充電しないでください。
- ・ 風窓のある充電器は、充電中に風窓をふさがないでください。また風窓に金属類、燃えやすいものを差し込まないでください。
- ・ 綿ぼこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。

5. 充電器のバッテリー装着部には充電用端子があります。金属片・水などの異物を近づけないでください。

- ・ そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。

6. 充電器は充電以外の用途には使用しないでください。

7. 充電中、発熱などの異常に気が付いたときは、直ちに電源プラグを抜いて充電を中止してください。

- ・ そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。

⚠ 警告

8. 正しく充電してください。

- ・ 充電器は定格表示してある電源で使用してください。
- ・ 昇圧器などのトランス類や直流電源では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
- ・ ラベルに「発電機」の表示がある充電器はエンジン発電機（当社インバータ制御付エンジン発電機は除く）では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
- ・ 周囲温度が 10 °C 未満、または周囲温度が 40 °C 以上ではバッテリーを充電しないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- ・ バッテリーは、換気のよい場所で充電してください。充電中のバッテリーや充電器を布などで覆わないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- ・ 充電器の電源コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように場所で充電してください。発煙、発火、感電の恐れがあります。
- ・ 充電器を使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

9. ぬれた手で電源プラグに触れないでください。

- ・ 感電の恐れがあります。

10. 充電製品を高圧電線の近くで使用しないでください（高圧電線対応製品は除く）。

- ・ 誤動作や故障する恐れがあります。

11. 充電器で使用する延長コードの太さ（導体公称断面積）と長さの目安

- ・ 充電器の使用時に延長コードが必要な場合、充電器を最高の能率で支障なくご使用いただくために十分な太さの延長コードをできるだけ短くお使いください。

太さ（導体公称断面積）	長さの目安
2.0 mm ²	30 m

この取扱説明書は、大切に保管してください。

- ・ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に必ず保管してください。
- ・ ほかにの人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

充電式電子レンジ安全上のご注意

⚠ 警告

1. 吸気口や排気口はふさがないでください。
 - ・ 火災・故障の原因となります。
2. 丈夫で安定した水平な場所に置いてください。
 - ・ 不安定な場所に置くと、落ちたり倒れたりして、故障・けがの原因となります。
3. 本製品を落下、転倒させた場合は、使用しないでください。
 - ・ 電波もれや熱もれ・感電・やけどの原因となります。
 - ・ そのまま使用せずに、お買い上げの販売店、または当社営業所に点検をお申し付けください。
4. 本製品と壁の間は本書に記載の距離を確保して設置してください。
 - ・ 本製品が高温になり、火災・故障の原因となります。
 - ・ 記載寸法の通りに離しても、排気に調理中の油や湯気が混じり、排気口付近が汚れたり結露することがあります。
5. 本製品の上に、ものを置いたり、布などをかぶせたりしないでください。
 - ・ 置いたものが加熱され、変形・焦げ・発火・火災の原因となります。
6. 調理以外の目的には使用しないでください。
 - ・ 火災・感電・やけど・けが・故障の原因となります。
7. 吸気口や排気口などにピンや針金などの金属物や異物を入れないでください。
 - ・ 感電・けが・故障の原因となります。
 - ・ 異物が入ったときは、お買い上げの販売店、または当社営業所にご相談ください。
8. 本製品の誤始動を防ぐために、次の作業前は電源ボタンやスイッチを切り、バッテリーを本製品から抜いてください。
 - ・ 調整、付属品の交換
 - ・ 保管、または修理
 - ・ 本製品から離れるときや、受け渡し
 - ・ その他、危険が予想される時
9. 本製品を水やその他の液体の中に入れてたり、浴槽や流し台に落下する可能性のある場所には置かないでください。
 - ・ 感電する恐れがあります。
10. 清掃の際は以下をお守りください。
 - ・ 水洗いは絶対にしないでください。本製品内部に水が入り、故障の原因になります。
 - ・ ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。
11. 高圧水での洗浄はしないでください。
 - ・ 破損、故障の原因になります。
12. 保守や点検は雨を避けられる場所で行ってください。

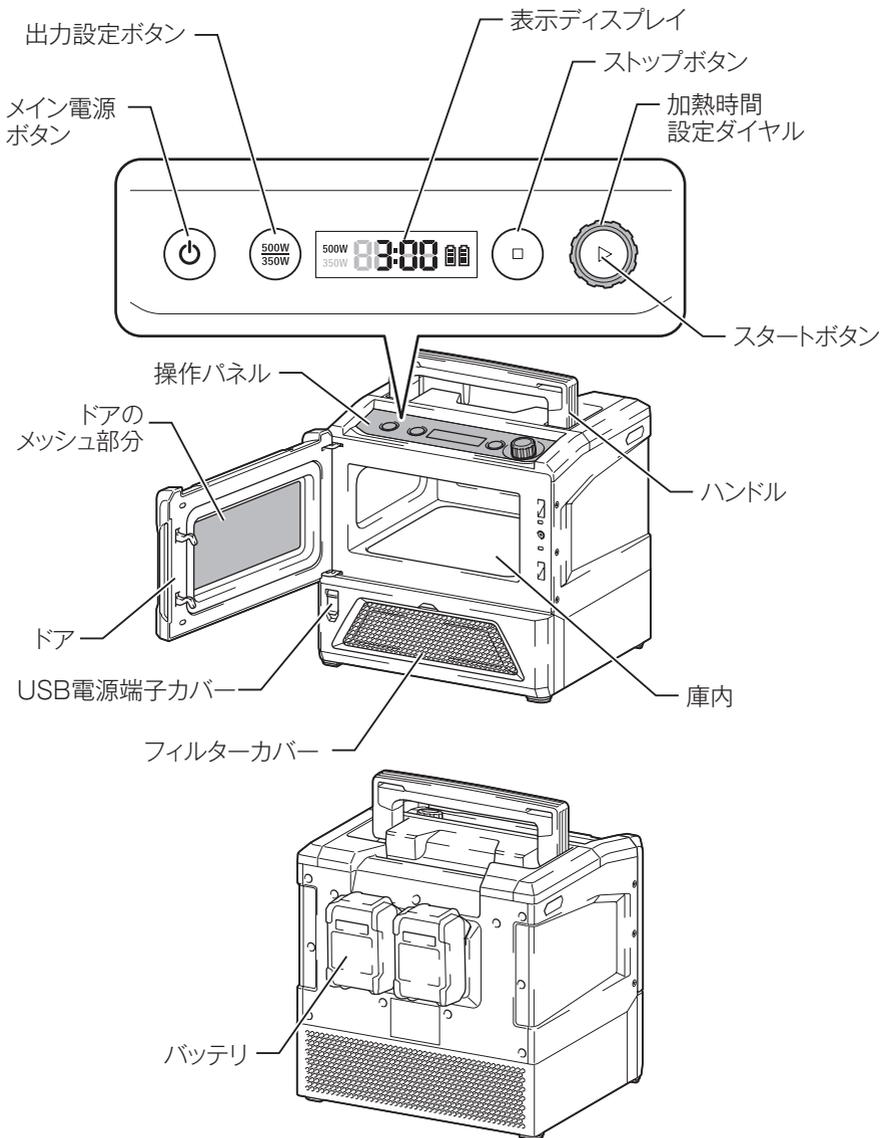
使用時の注意

- ・ 本製品を吊り下げた状態で操作しないでください。持ち運び以外の目的でハンドルを使用しないでください。

⚠ 警告

- 本書に記載している、本製品に適した調理器具のみを使用してください。
- ドアを開閉するときは、指の挟み込みに注意してください。
- ドアに乗ったり、無理な力を加えないでください。本製品が変形したり、落下することがあり、故障・けがの原因となります。また、ドアが変形すると、電波もれの原因となります。
- ドアのメッシュ部分に穴を開けないでください。電波もれの原因となります。
- 扉を開けたまま操作しないでください。扉を開けたままレンジを操作しようとすると、有害な電波にさらされる危険があります。
- ドアにものを挟んだまま使用しないでください。火災・電波もれの原因となります。
- 加熱中に本製品を動かさないでください。
- 食品以外のもの、バッテリー、アルミホイル、金属容器などを庫内に入れしないでください。誤って加熱をした場合、発火・発煙・故障の原因となります。
- プラスチックや紙の容器に入った食品を加熱する場合は、発火の可能性があるため、本製品から目を離さないようにしてください。
- 庫内が汚れたまま加熱しないでください。発煙・発火の原因となります。
- 加熱後のドアや庫内に水をかけたり、急冷させないでください。ドアや庫内が破損して、故障・けがの原因となります。
- 加熱前に食材から脱酸素剤などの鮮度保持剤は取り出してください。発煙・発火の原因となります。
- 紙袋やビニール袋を本製品に入れる際は、針金のひもをはずしてください。
- 食品を加熱しすぎないでください。発火・発煙・やけどの原因となります。小さなものや水分が少ないもの、油分があるものなどは発火・発煙しやすいので様子を見ながら加熱してください。
- 庫内に何も入れずに加熱しないでください。庫内が異常に加熱され、故障・やけどの原因となります。
- 生卵、ゆで卵、目玉焼きは加熱しないでください。卵が破裂してやけどの原因となります。取り出した後にも、突然破裂することもあります。
- 飲み物を加熱しすぎないでください。加熱後に突然沸騰して、飛び散ることがあり、やけどの原因となります。
- 加熱前に瓶や密閉容器のふたは必ずはずしてください。ふたをして加熱すると、容器が破裂して、けが・やけどの原因となります。
- ベビーフードやミルク、介護食などは、加熱後にかき混ぜてください。
- 可燃物や爆発物、特にドライアイスを加熱しないでください。
- 衣類や新聞紙などをレンジで乾燥させたり、新聞紙や紙袋を調理に使ったりしないでください。
- 加熱中や加熱後に、高温部分（庫内、ドア、排気口など）に触れないでください。やけど・けがの原因となります。
- やけどの恐れがあるので、加熱後の熱い容器、蒸気、飛沫に注意してください。
- 庫内で食材が燃えたり、煙が出たらドアを開けないでください。食材が庫内で発火・発煙した場合は、すぐにストップボタンを押して加熱を中止し、バッテリーをはずし、ドアを開けずに鎮火するのを待ってください。このとき、必ず周囲にある燃えやすいものを遠ざけてください。万が一、鎮火しない場合は水や消火器で消火してください。そのまま使用せずに、お買い上げの販売店、または当社営業所に点検をお申し付けください。

各部名称



ブザーガイド

- ・ 加熱終了時の音：
 - ・ 「ピーッ」という音が鳴ります。鳴っている途中に扉を開けると音は止まります。
 - ・ 加熱終了後、操作がないときは、1分おきに「ピピピッ」と取り忘れ防止音が鳴ります。
 - ・ 加熱終了後、3分経過すると、音は鳴らずに本製品の電源が切れます。
- ・ バッテリー切れのお知らせ音：
 - ・ 「ピピピッ」、「ピピピッ」、「ピピピッ」と鳴ります。
- ・ エラーコードの表示音：
 - ・ 「ピッ」と短く鳴ります。

■ 消音モード

- ・ 電源を入れた後、ストップボタンとスタートボタンを同時に長押しすると「OFF」と表示され、消音モードになります。お知らせ音はすべてオフになります。
消音モード中に、ストップボタンとスタートボタンを同時に長押しすると「ON」と表示され、消音モードが解除されます。お知らせ音はすべてオンになります。

エラーコード

- ・ 本製品が問題を検知すると、対応するエラーコードが操作パネルに表示されます。「トラブルシューティング」(32ページ参照)に従って対処してください。

別販売品のご紹介

- ・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げの販売店、または当社営業所へお問い合わせください。
- ・ ショルダーベルト
部品番号：A-60589

バッテリーおよび充電器

品目	品名	部品番号
使用可能バッテリー (容量)	◎ BL4025 (2.5 Ah)	A-69923
	◎ BL4040 (4.0 Ah)	A-69939
	◎ BL4040F (4.0 Ah)	A-73841
	◎ BL4050F (5.0 Ah)	A-72372
	◎ BL4080F (8.0 Ah)	A-73368
対応充電器	DC40RA (急速充電器)	JPADC40RA
	DC40RB (2口急速充電器)	JPADC40RB
	DC40WA (2口充電器)	JPADC40WA
ポータブル電源	◎ PDC1200	A-71825

◎：使用推奨バッテリー

- ・ アダプタセット品 (40 V max × 1)
部品番号：A-72241
※ポータブル電源ユニット PDC1200 使用時に必要となるアダプタです。
- ・ ADP10 充電器用互換アダプタ
部品番号：A-69967
充電器 DC40RA または DC40RB に取り付けることでマキタ 14.4 V / 18 V バッテリーの充電が可能になるアダプタです。

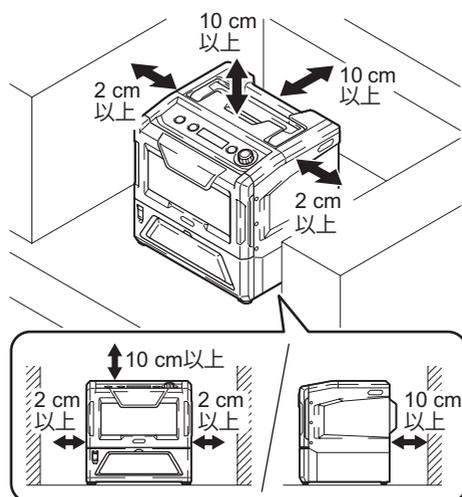
ご使用前の準備

設置

⚠ 警告

本製品を設置する際は、必ず以下の設置手順をお守りください。

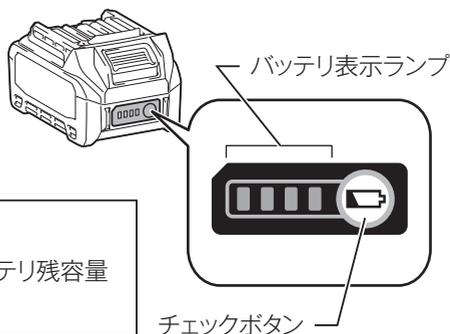
1. 箱から本製品を取り出し、破損がないか確認してください。損傷がある場合は、直ちにお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
2. 本製品を設置します。
 - ・ 本製品は、丈夫で安定した水平な場所に置き、ガスバーナーや水槽などの熱や湿気から遠ざけてください。
 - ・ 十分な換気を確保するため、本製品背面と壁の距離は 10 cm 以上、本製品側面と壁の距離は 2 cm 以上確保してください。
 - ・ 本製品の使用中に、テレビやラジオの画像の乱れや雑音が発生する様であれば、本製品をテレビやラジオから離してご使用ください。
 - ・ ハンドルの持ち上げを考慮し、上面からの距離を 10 cm 以上確保してください。
 - ・ 本製品は、戸棚などの閉ざされた空間では使用しないでください。



バッテリー（別販売品）の充電

バッテリー残容量表示

- ・ チェックボタンを押すとバッテリー表示ランプが残容量を数秒間表示します。



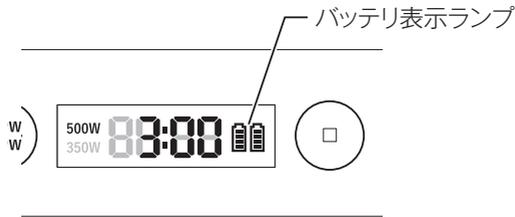
バッテリー表示ランプ	バッテリー残容量
■ :点灯 ▨ :点滅 □ :消灯	
■ ■ ■ ■	75 % - 100 %
■ ■ ■ □	50 % - 75 %
■ ■ □ □	25 % - 50 %
■ □ □ □	0 % - 25 %
▨ □ □ □	充電してください。
■ ▨ □ □ □ □ ▨ ▨ ↓ ↑	バッテリーの異常 です。

注

- ・ 表示される残容量は、ご利用状況や気温などによって実際の残容量と異なる場合があります。
- ・ バッテリー保護機能が働いた際は、左端のバッテリー表示ランプが点滅します。

バッテリー残容量表示機能（操作パネル）

- 操作パネルのバッテリー表示ランプにバッテリーの残量が表示されます。



バッテリー残容量表示	バッテリー残容量
	75 % - 100 %
	50 % - 75 %
	25 % - 50 %
	0 % - 25 %
	バッテリー残容量にかかわらず点滅の場合は充電してください。

注

- バッテリーの容量が残っていても、操作パネルが点滅して充電を促される場合があります。これは製品の異常ではありません。
- 仕様上、バッテリーの種類によっては容量が一定以下になると使用できない場合があります。
- 本製品の作動に必要なバッテリーは1個ですが、2個までバッテリーを装着できます。

バッテリーの充電方法

お客様がお持ちの充電器の取扱説明書に従って充電を実施してください。

バッテリー（別販売品）の取り扱い

バッテリーについて

- ・ お買い上げ時は、バッテリーは十分に充電されていないため、充電器で正しく充電してからご使用ください。
- ・ 使用しないときはバッテリーカバーをかぶせてください。バッテリーを水やほこりから保護するのに役立ちます。
- ・ 使用しないときは本製品または充電器からバッテリーを抜いて保管してください。

バッテリーを長持ちさせるには

- ・ 本製品の力が弱くなってきたと感じたら使うのをやめ、充電してください。
- ・ 満充電したバッテリーを再度充電しないでください。
- ・ 充電は周囲温度 10℃～40℃の範囲で行ってください。
- ・ 長期間（6ヶ月以上）ご使用にならない場合、リチウムイオンバッテリーは充電してから保管することをおすすめします。

バッテリーの回収について

- ・ 使用済みバッテリーはリサイクルのため回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。



リチウムイオンバッテリーは
リサイクルへ

充電器の点検・修理・保管方法

お客様がお持ちの充電器の取扱説明書に従って実施してください。

使用前に知っておいていただきたいこと

使える容器・使えない容器について

⚠ 注意

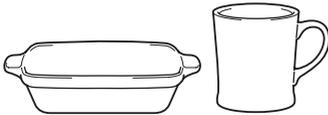
アルミホイル・金属容器などの金属製品を加熱しないでください。

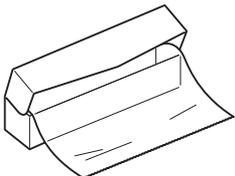
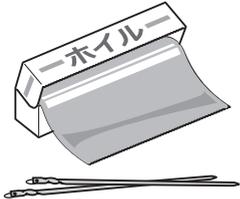
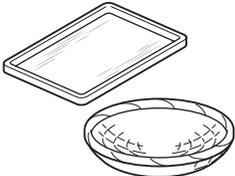
- ・ 火花が発生し、発火・発煙・故障の原因となります。

プラスチック類は家庭用品品質表示法に基づく耐熱表示をご覧ください。

材質や耐熱温度の表示がないものは使用しないでください。

- ・ 調理に適した容器を使用してください。一般に、耐熱性のある陶器、ガラス、プラスチック製の容器が調理に使用できます。下の表を参考にしてください。

容器の材質		
陶器・磁器	グラタン皿、カップなど 	○使えます ・ 耐熱陶器、耐熱磁器（グラタン皿など） ※耐熱性がある陶器、磁器でも、急熱・急冷すると割れることがあります。
	素焼きの陶器など 	×使えません ・ 色絵付け、ひび模様、金・銀模様のあるもの ・ 素焼きの陶器、土鍋 ・ 吸水性の高いもの
プラスチック容器・シリコン容器	耐熱プラ容器（タッパーなど） 耐熱シリコンスチーマーなど 	○使えます ・ 「電子レンジ使用可」の表示があり、耐熱温度が 140℃ 以上のもの。 ・ ふたは熱に弱いものがあるため耐熱温度を確認してください。 ・ 油分・糖分が多い食品は高温になるため耐熱温度を確認してください。
	耐熱温度表示がないプラスチックなど 	×使えません ・ 「電子レンジ使用可」の表示がないもの ・ 耐熱温度の表示がないもの ・ 耐熱温度が 140℃ 未満のもの ・ 電波で変形するもの（スチロール、ポリエチレン、フェノール、メラミン、ユリ樹脂など）も使用できません。

容器の材質		
ガラス容器	<p>耐熱ガラス</p> 	<p>○使えます</p> <ul style="list-style-type: none"> 耐熱性のあるもの ※耐熱性があるガラスでも、急熱・急冷すると割れることがあります。
		<p>×使えません</p> <ul style="list-style-type: none"> 耐熱性のないものは破損の原因になります。 クリスタルガラス、カットガラス、強化ガラスなども使用できません。
その他	<p>ラップ類</p> 	<p>○使えます</p> <ul style="list-style-type: none"> 耐熱が 140 °C以上あるもの
		<p>×使えません</p> <ul style="list-style-type: none"> 耐熱が 140 °C未満のもの
	<p>金属容器、金ぐし、アルミホイル、金属など</p> 	<p>×使えません</p> <ul style="list-style-type: none"> 火花が発生する原因になります。 アルミホイルは、生ものの解凍などで部分的に使用できますが、庫内壁面やガラスに触れると火花を発生させる原因になります。
<p>竹、木、紙</p> 	<p>×使えません</p> <ul style="list-style-type: none"> 加熱しすぎると燃えたりすることがあります。 	

持ち運び

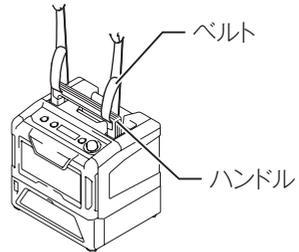
■ ショルダーベルト（別販売品）の取り付け／取りはずし方

⚠ 警告

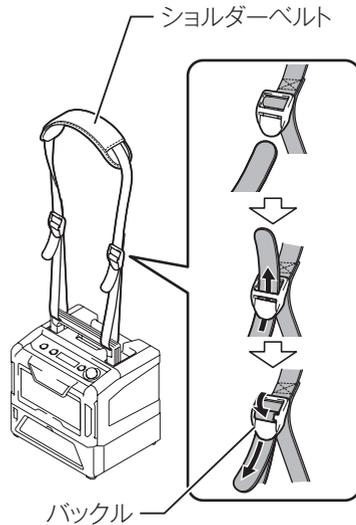
ショルダーベルトがしっかりと装着されていることを確認してください。

・ 落下事故の原因となります。

- ・ 本製品はハンドルを持って持ち運ぶ以外に、ハンドルにショルダーベルトを取り付けて持ち運ぶことができます。
1. ショルダーベルトのベルトをハンドルの2つの穴に通します。



2. ショルダーベルトをバックルで留めます。



本製品およびバッテリーの保護機能

本製品を使用中、下記状態になりますと動作が自動停止しますが、これは保護機能によるものです。

保護機能
<ul style="list-style-type: none">・ 本製品およびバッテリーの温度が高温になると動作が自動停止します。<ul style="list-style-type: none">・ 使用を中断して本製品よりバッテリーを取りはずし、冷却ファン付きの充電器で充電および冷却をしてください。・ バッテリーを冷ましても本製品が動作しない場合は、本製品を冷ましてください。
<ul style="list-style-type: none">・ バッテリーの容量が少なくなると動作が自動停止します。<ul style="list-style-type: none">・ スイッチを操作しても本製品が作動しない場合は、本製品からバッテリーを取りはずし、バッテリーを充電してください。
<ul style="list-style-type: none">・ 本製品が過負荷状態になると動作が自動停止します。<ul style="list-style-type: none">・ 本製品の電源を切り、本製品よりバッテリーを取りはずした後、過負荷の原因を取り除いてください。原因を取り除けば再びご使用になれます。

- ・ 上記以外の症状で停止した場合、「故障かな?と思ったら」(33 ページ参照)に従って点検してください。

■ 扉開閉保護機能

- ・ 運転中に扉を開けると、本製品は直ちに自動停止し、庫内灯が点灯します。扉を閉めると庫内灯が消灯します。再度スタートボタンを押すと、運転を再開します。
- ・ 扉が開いている状態でスタートボタンを押すと、ブザー音が鳴り、エラーコード F09 が表示されます。

■ 傾き保護

- ・ 本製品は傾いていると動作しません。本製品が傾いている場合、エラーコード F01 が表示されます。本製品を水平に置き、運転を再開してください。

使い方

バッテリーの取り付け／取りはずし方法

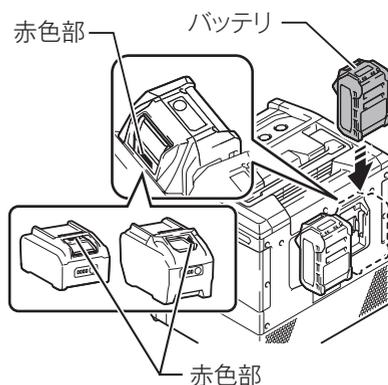
⚠ 警告

バッテリーは確実に差し込んでください。ボタン上部の赤色部が見えている場合は完全にロックされていません。赤色部が見えなくなるまでしっかり差し込んでください。

- ・ 差し込みが不十分ですと、はずれて事故の原因になります。

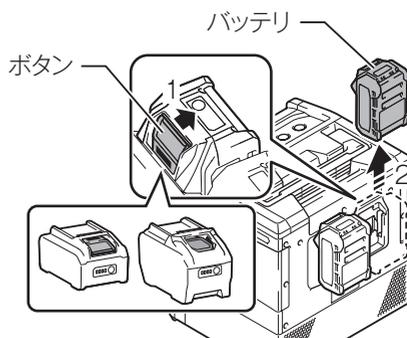
取り付け方

- ・ バッテリーを本製品の溝に合わせ、赤色部が見えなくなるまで差し込みます。



取りはずし方

- ・ バッテリーのボタンを
 1. 矢印方向に押しながら
 2. 引き出します



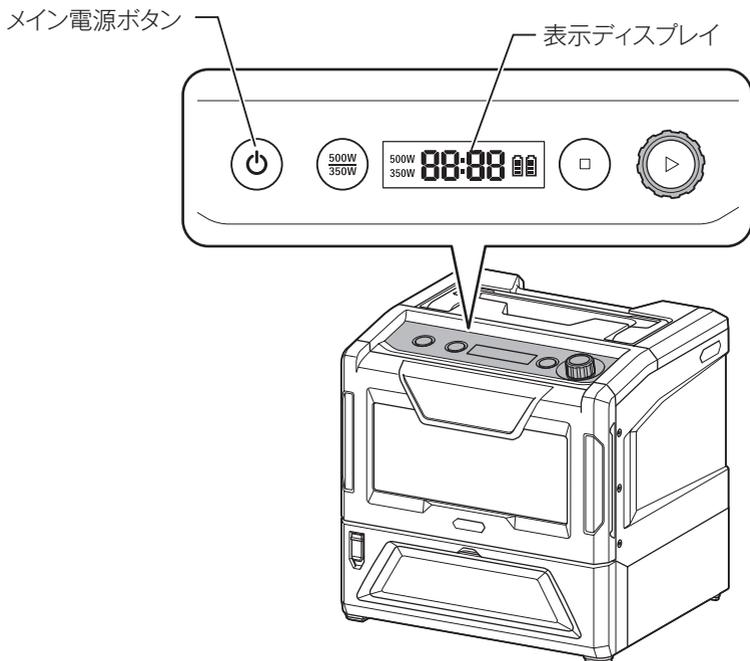
注

- ・ 本製品の作動に必要なバッテリーは 1 個ですが、2 個までバッテリーを装着できます。
- ・ バッテリーを 2 個装着した場合は、上図右側のバッテリーから使用されます。

本製品の操作

電源の入れ方／切り方

- ・メイン電源ボタンを押すと「ピッ」という音が鳴り、表示ディスプレイ、すべてのボタンライトが点灯し、「500W」、「0」、「バッテリー残量表示」が表示されます。
- ・電源が入った状態で、メイン電源ボタンを押すと「ピッ」という音が鳴り、電源が切れます。



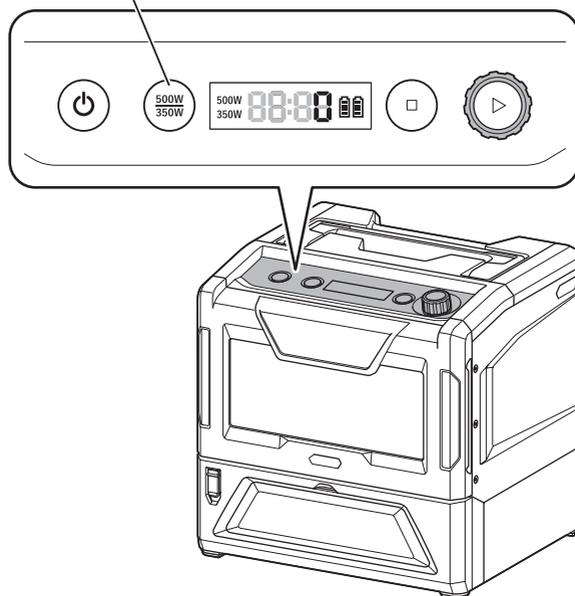
注

- ・電源を入れたとき、出力は 500 W の設定になっています。
- ・電源を入れてからボタン類を操作しないまま 3 分経過すると、自動的に電源が切れます。

出力の切り換え方法

- 出力設定ボタンを押すごとに、500 W/350 W が切り換わります。

出力設定ボタン

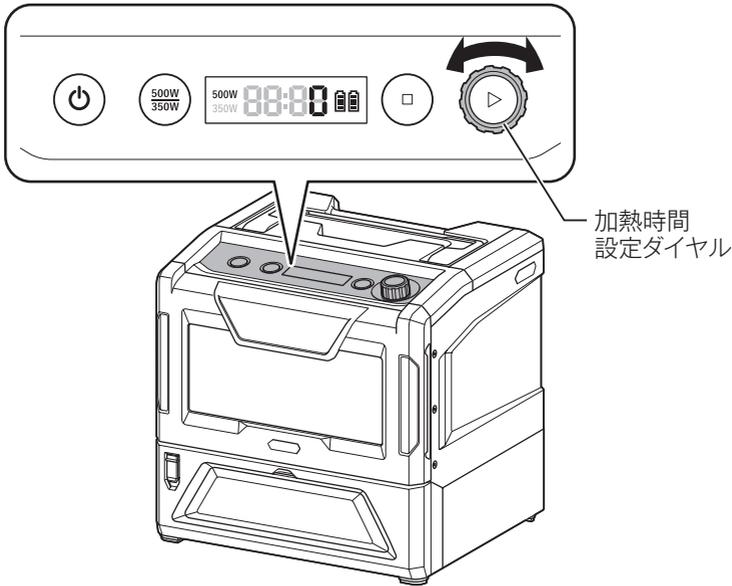


注

- 運転中、一時停止中、時間設定をしている間は、出力の切り換えはできません。
- 出力の切り換えはパネルの表示が0秒のときに実施してください。

加熱時間の設定方法

- ・ 加熱時間設定ダイヤルを回す角度に応じて 10 秒ずつ加熱時間を設定できます。
- ・ 加熱時間設定ダイヤルを右（時計回り）に回すと 10 秒ずつ増加し、左（反時計回り）に回すと 10 秒ずつ減少します。
- ・ 加熱時間は最大 20 分まで設定できます。



加熱方法

1. ドアを開きます。
2. 庫内の中央に食品を置き、ドアを閉めます。
3. 電源ボタンを入れ、出力設定ボタンで出力の値を選択します（25 ページ参照）。
4. 加熱時間設定ダイヤルで加熱時間を設定し、スタートボタンを押すと加熱が始まります。
加熱中にストップボタンを押すと、一時停止します。もう一度押すと加熱を終了し、「0」を表示します。加熱を再開する場合は、スタートボタンを押してください。
5. 加熱が終了すると、「0」が表示され、「ピーツ」という音が 2 秒間鳴ります。
6. ドアを開き、食品を取り出します。

注

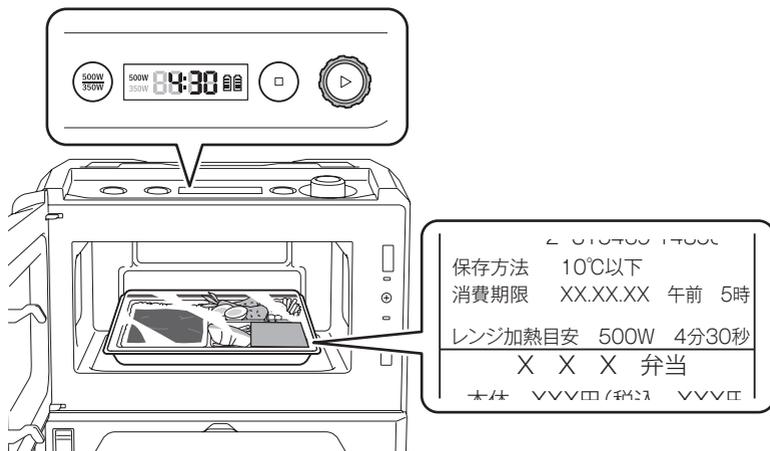
- ・ 加熱完了後にファンの回転音が 15 秒間程度することがありますが故障ではありません。ファンの作動中はバッテリーを抜かないようにしてください。（故障することはありませんが、エラー発生の原因となる場合があります）

調理のコツ

- 以下の要因で調理の仕上がりに影響が出る場合があります。

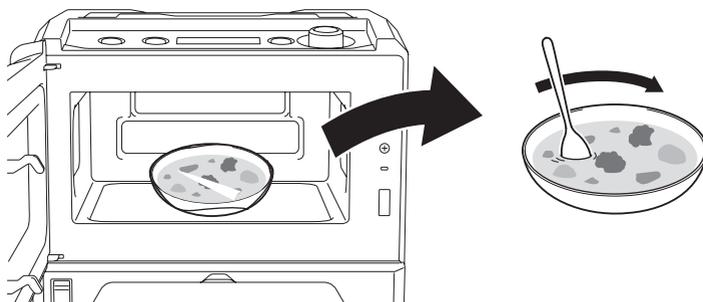
■ 調理時間の長さ

- 設定時間を短くして調理を開始し、調理後の様子を見てから、食材の状況に応じて時間を延長してください。必要以上に加熱しすぎると、焦げたり、発煙、発火したりする恐れがあります。



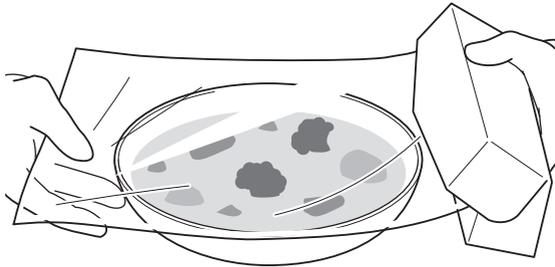
■ 食材を均一に加熱

- カレーやシチューなど、とろみのあるものや汁物は加熱ムラができませんので、調理途中に全体を混ぜてから再び温めてください。温めが足りないときは様子を見ながら追加で加熱してください。
- 食材の大きさや厚みが違うと、電波の当たり方が不均一になり加熱ムラができます。熱が均一に通るように、厚みをそろえて切ったり、形や大きさをそろえて切るなど工夫をしてください。



■ 電子レンジ対応ラップ

- ・ ラップはふたのような役割をし、熱効率がよくなり早く温まります。また、水分が逃げるのを防ぐので、しっとりと仕上がります。
調理する食材によっては、適さない場合があります。
- ・ ラップをするもの
煮物、蒸し物、汁物、調理済み冷凍食品全般など、しっとり仕上げたい場合。
- ・ ラップをしないもの
ごはんもの、揚げ物、焼き物、炒め物など、水分を飛ばしぎみにしたい場合。



注

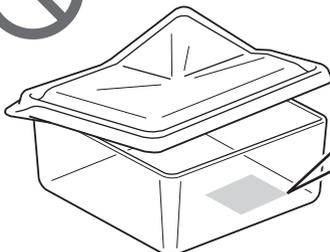
- ・ 油分の多い食品を調理するときは、ラップが溶けることがあるので、ラップは少しゆとりをもたせて食品に接触させないでください。

■ 電子レンジ対応プラスチック製調理器具

- ・ 電子レンジ対応のプラスチック製調理器具の中には、油や糖分の多い食品の調理に適さないものがあります。
- ・ 容器に表示されている耐熱温度を必ず確認してください。

注

- ・ 容器に表示されている耐熱温度が 140 °C 未満のものは使用しないでください。
- ・ 容器に耐熱温度の表示がないプラスチック製調理器具は使用しないでください。



原料樹脂 ポリプロピレン
耐熱温度 120°C

USB 電源端子の使い方

⚠ 注意

USB 電源端子に対応した機器のみを接続してください。

- ・ 非対応の機器を接続すると、本製品の故障の原因となります。

本製品の USB 電源端子とパソコンの USB 端子を接続しないでください。

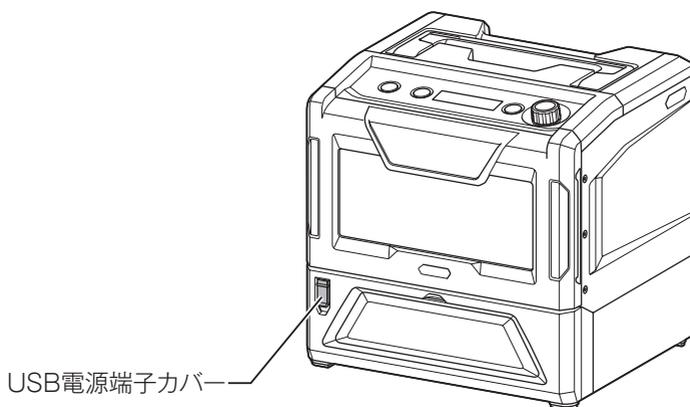
- ・ 故障の原因となります。

USB デバイスを本製品に接続する前に、必ず USB デバイスのデータをバックアップしてください。

- ・ データが失われる可能性があります。

デバイスを使用しないとき、または充電した後は、USB ケーブルを取りはずしてください。

- ・ 本製品の電源が入っている間、USB 電源端子から携帯電話などの USB 機器の充電に使用できます。
- ・ 充電中、自動で電源は切れません。充電を停止した後、3 分間何も操作がなければ電源が切れます。また、小電流の USB 機器を充電した場合、自動で電源が切れることがあります。
- ・ USB 電源端子カバーをはずし、USB ケーブルを差し込んで使用します。



使用後の取り扱い

⚠ 警告

点検・整備の際には必ずスイッチを切り、本製品よりバッテリーを抜いてください。

- ・ バッテリーを本製品に差し込んだまま行くと、事故の原因になります。

庫内に付着した油や食品カス、水分を残したまま加熱しないでください。

- ・ 電波が汚れた部分に集中して、火花の発生・発煙・発火などの恐れがあります。また、さびの原因となります。

本製品のお手入れ

■ 庫内

- ・ かたくしぼった、ぬれふきんか中性洗剤を含ませた布できれいに拭いてください。
- ・ 庫内の汚れは、ぬれたふきんですぐ拭き取ってください。
- ・ 落ちにくい汚れは、ぬれたふきんを汚れの上に置いて 30 分ぐらい汚れをふやかしてから拭いてください。
- ・ 調理後に結露した水分は、冷めてから乾いた布で必ずその都度拭き取ってください。

■ 外側

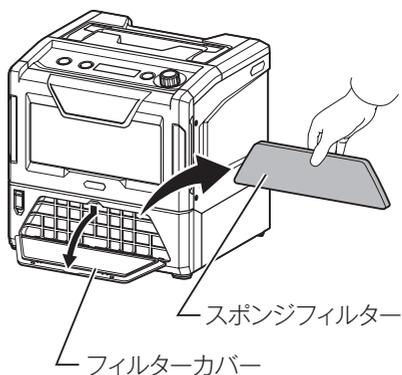
- ・ かたくしぼった、ぬれふきんか中性洗剤を含ませた布できれいに拭いてください。

注

- ・ 水洗いは絶対にしないでください。本製品内部に水が入り、故障の原因になります。
- ・ ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。

スポンジフィルターの清掃

1. フィルターカバーを開けます。スポンジフィルターを取りはずして、ほこりを取ります。
2. フィルターカバーの表面と内側をクリーニングクロスなどで拭き取ります。
3. スポンジフィルターを水洗いし、よく乾燥させるか、スポンジフィルターに吸着したゴミやほこりをエアブローなどで吹き飛ばします。スポンジフィルターが破損し、清掃できない場合は、適時交換してください。



トラブルシューティング

- ・ 本製品が問題を検知すると、以下の対応するエラーコードが表示ディスプレイに表示されます。

エラーコード	原因	対処法
F01	本製品が水平から約 30 度以上傾いて設置されている。	本製品が水平に設置されているかどうか確認してください。
F02	過電流を検知し、停止します。	バッテリー交換後、一度電源を切ってから再起動してください。
F03	過電圧を検知し、停止します。	バッテリー交換後、一度電源を切ってから再起動してください。
F04	本製品の温度異常を検知し、停止します。	バッテリーを抜いて、本製品を冷やしてください。
F05	ファンの故障	本製品の電源を切り、再起動してください。
F06	マグネトロン故障	本製品の電源を切り、再起動してください。
F07	内部通電の故障	本製品の電源を切り、再起動してください。
F09	扉開閉保護機能などが作動している。	「扉開閉保護機能」(22 ページ参照)に従って対処してください。改善されない場合は、本製品の電源を切り、再起動してください。

- ・ 対処を実施して、それでも改善されない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所まで修理をお申し付けください。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、下記項目を点検してください。

症状

- 本製品が停止する
- 始動しない

原因

保護機能※が働き、本製品またはバッテリーが機能停止している可能性があります。

解消方法

本製品の電源を切って、再度入れてください。

↓ 解消しない

バッテリーを充電するか、充電済みのバッテリーと交換してください。

↓ 解消しない

本製品を十分に冷ましてください。

↓ 解消しない

お買い上げの販売店、または当社営業所まで修理をお申し付けください。

※保護機能については 22 ページ参照。

ご修理の際は

- ・ 修理はご自分でなさないで、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
- ・ 修理をお申し付けの際は、製品、バッテリー、充電器を一緒にお持ちください。

本製品の廃棄

各自治体の指示に従って廃棄してください。

MW001G-JP-2310
CRE

株式会社 マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711 (代表)